

祝

ふりゅうおどり 「風流踊」ユネスコ無形文化遺産 登録



なぎなた
長刀振り(小津神社)
 長刀を振り、背中で回しながら持ちかえたり、空に放り投げて受けたりします。



かんこの舞(下新川神社)
 雄が求愛し、雌が応えて恋愛が成就するストーリーを踊りで表現しています。

小津神社(杉江町)と
 下新川神社(幸津川町)に
 伝わる祭礼が
 世界の宝物になりました。

地域から世界の宝へ 喜びも責任も大きく



小津神社長刀踊保存会の田中 治男さん(左)と
 下新川神社伝統文化保存会の伊藤 五作さん

ユネスコ登録で風流踊「近江のケンケト祭り長刀振り」が世界の宝として認められました。喜びはもちろんありますが、それ以上に責任の重さを感じています。

地域の歴史をつなぐ伝統の祭りですが、どの保存会でも子どもが減って担い手に苦労していると思います。保存会や地元だけが頑張るのではなく、行政や他地域にも支援してもらい、魅力ある地域コミュニティの一つとしても子どもたちや若い世代に再認識してもらえるようになって、今年のゴールデンウィークにも世界の宝を受け継ぎ、にぎにぎしくまつりを営み、あでやかな踊りで一年の幸を祈りたいと思っています。

昨年12月1日、本市に伝わる長刀振り(小津神社)と、かんこの舞(下新川神社)などをはじめ、「風流踊」の伝統を守り継ぐ、県内各祭礼の関係者が杉江町の小津神社に集まり、万歳三唱やくす玉割りなどの、ユネスコ無形文化遺産登録の記念セレモニーが行われました。



ユネスコ無形文化遺産・風流踊

ユネスコ無形文化遺産に登録された「風流踊」は全国41件の民俗芸能で、このうち滋賀県では「近江のケンケト祭り長刀振り」「近江湖南のサンヤレ踊り」が対象です。

風流とは「華やかな」「人目を惹く」という意味で、衣装や持ち物に趣向をこらして、歌や笛・太鼓・鉦などの囃子に合わせて踊るのが風流踊です。「近江のケンケト祭り長刀振り」の共通の特徴は、きらびやかな衣装やにぎやかな囃子に加え、長刀や棒振りを用いた踊りの奉納です。

ユネスコ無形文化遺産は、世界各地の重要な社会的風習、祭礼などを「人類の無形文化遺産」として登録し、保護や援助を行うものです。